

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名：グループホーム 悠々居

作成日：平成22年 3月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	道路の近くに悠々居の居室があるという事もありつい閉鎖的になってしまっている。	①近所の人気が気軽に立ち寄れるグループホームをめざす。 ②閉鎖を減少させる	①取組み…運営推進委員会などで、毎回気軽に訪れて頂くよう話していく。 ②取組み…まずは1Hより開放時間を決める。	12ヶ月
2	3 (12)	医療連携は十二分に施行してありますが、まだ加算にいたっていません。指針やマニュアルをきちんと作成し、加算にこぎつけたい。	①医療連携加算をとれるようにする整備 ②マニュアルの完成	①取組み…医療連携に関する研修 ②取組み…作成計画	6ヶ月
3	5 (13)	地域の人との協同の避難訓練が出来ていない。職員の意識向上。	①地域の人と具体的な訓練計画を作成していく ②職員の意識向上を図る	①地域の人との話し合い(1回目…4月3日予定) ②実際の地域の人との訓練を計画実施、少しずつ職員にも理解してもらうようにする。	12ヶ月
4	6 (14)	接遇教育は行なっているが、実際に活かせていない人がある。拘束の意味が末端まで理解されていない。	①きちんとした接遇ができる職員を育てる ②拘束をきちんとみんなに理解して頂く	①取組み…集合教育、助手教育現場で実際に使える接遇教育の実施 ②拘束、高齢者虐待、個人情報の研修の実施(1ヶ月1回予定)	12ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。